

小学生に英語を話す場の提供を

秋元 伸之 議員



▲ALTとの授業風景

議員 小学生に、総合的な学習の授業で学んだ英語で、直接外国人と話す機会を提供できないのか。

教育長 子ども達は、授業で覚えた英語を休み時間や給食、掃除時間などにALTとコミュニケーションを楽しんでいます。今年の夏休みには、全小学校で英会話教室や国際交流教室を企画して、外国人と英語を話す機会を提供しました。

議員 今後、どのように検討していくのか。

教育長 イマージョン教育は、すべての教科を英語で行うため、国語教育の充実が叫ばれている中、本市における学校教育の現状と課題を見極めた上で、他地域の研究成果を見ながら慎重に研究し、しばらく現状を見守る必要があるかと思われま。

議員 持ち去りが横行しているが、今後の対策は。

市民生活部長 罰則規定も視野に入れた条例改正並びに拠点回収のあり方についても検討し、2月か3月の議会に提案をしたい。

議員 夜間の戸別収集は、過去に都内の自治体で試験的に実施したことがあります。委託料の割増しや、収集車自体及び作業による騒音が問題として発生し、解決には至っておりません。本市としては、回収時間を1時間繰り上げての早期回収などについて委託業者と調整を図り、実効性のある対策として実施していきたいと考えています。

議員 平成12年12月、児童センター（プリムローズ）で起こった児童転落死亡事故に対する損害賠償請求裁判が結審した。この事故は、深い悲しみだけでなく、今後の児童関連施設の建設及び管理に重大な課題を残したと考える。

建築基準法の安全基準を最低の基準であると明確に位置づけ、市の安全管理に対する過失を認めた今回の判決を受けて、現状と今後の

児童関連施設の安全確保は

遠藤 英樹 議員



▲プリムローズで遊ぶ子ども達

議員 投票所のバリアフリーの状況はどうか。

投票率アップについて

議員 投票所のバリアフリーの状況はどうか。

選挙事務局長 投票環境の向上を図るため、階段にはスロープの設置、着席して投票の記載ができる記載台の配置、各記載台には専用

議員 本市は、次回の市議会議員選挙から電子投票を予定しているが、各地で事故が続く、その正確性に疑念を抱かざるを得ないが、現在の取り組みはどうか。

選挙事務局長 今後も、電子投票の導入についての安全性が確認された段階で、見極めをしていきたいと考えています。

* イマージョン教育=通常の教科の授業を第二言語で教えることにより、学習者に自然に第二言語を習得させる教育プログラム。

県下に先駆けて誕生した新しい制度について問う

細井 幸雄 議員

議員 本年4月、埼玉県90市町村に先駆けて施行された「市民パブリック・コメント制度」は、政策の立案過程で市民に意見を伺う画期的な制度だが、市民への浸透度は極めて低いと思われる。折角の制度であり、対策を講じるべきだ。

議員 職員の理解はどうか。市民の意見によって計画が遅れや変更が生ずるのではといった消極的な考えや、部署による認識度の差異を出さないための方策は十分か。意見を虚心で伺う姿勢が大切だ。広報掲載文等に一層の配慮と、出された意見は賛否にかかわらず、十分な考慮が必要だと思ふ。

また意見を表明されない圧倒的多くの市民が何を考え、どう思っているかといったことに思いを巡らすことも、極めて大事なことだと思ふ。

総務部長 市民パブリック・コメント制度は、市が積極的に情報を開示し、市民の皆さんの協働で進める行政を、さらに明確に示した制度です。

本制度のPRに当たっては、施行前から、広報を初

議員 持子去りが横行しているが、今後の対策は。

市民生活部長 罰則規定も視野に入れた条例改正並びに拠点回収のあり方についても検討し、2月か3月の議会に提案をしたい。

議員 夜間の戸別収集は、過去に都内の自治体で試験的に実施したことがあります。委託料の割増しや、収集車自体及び作業による騒音が問題として発生し、解決には至っておりません。本市としては、回収時間を1時間繰り上げての早期回収などについて委託業者と調整を図り、実効性のある対策として実施していきたいと考えています。



▲広報紙によるパブリック・コメント募集

議員 多くの機会を捉えて行つてまいりましたが、なじみのない新しい制度で、市民の方々への浸透は不十分な状況にあることは否めません。

職員への制度の理解を深め、周知徹底させることはもとより、市民に対して今後、さらに周知の方法工夫を加え、本制度の普及に努めます。

また、意見募集の記事に関しては、虚心に意見を伺う姿勢が何より肝心と考えますので、その趣旨をよく踏まえ、今後、文章表現に十分注意してまいります。

いただいた意見に対しても、同様の趣旨で対応してまいります。

投票率アップの考えは

手塚 静枝 議員



▲投票風景(昨年10月の参議院補欠選挙より)

議員 本市の投票率は、全国最下位県の中でも特に低い投票率である。

①この現状をどのように受

議員 投票率のアップを図るには、啓発活動が重要と考えております。また、投票しやすい環境づくりに努力します。

議員 公園などに、健康の維持向上を図れる健康遊歩道を設置してはどうか。

また、高齢者や病後の機能回復に利用できるリハビリ遊具の設置はどうか。

選挙事務局長 ①投票率の低下の原因は、一概には言い切れないところがあります。特に最近では、若い世代の政治的無関心層が増加傾向にあり、低投票率の要因となっています。これは大変重要な問題と認識しています。

議員 公園などに、健康の維持向上を図れる健康遊歩道を設置してはどうか。

また、高齢者や病後の機能回復に利用できるリハビリ遊具の設置はどうか。

け止めているのか。

②選挙管理委員会には、投票率アップをどのように検討したのか。

③「期日前投票制度」とは、どのようなものか。

④投票率アップの一考として、期日前投票の投票所を増やしたらどうか。

③従来の不在者投票を改め、投票日と同様に投票を行うことができる制度です。

投票用紙を直接、投票箱に投函することができ、投票がしやすくなっています。

④人的配置の問題等もあり、新制度の実施状況を見ながら対応したいと考えています。

健康遊歩道とリハビリ遊具の設置について

道路の改良について

議員 北戸駅西口交番付近の歩道と縁石の改良は。

都市整備部長 所轄警察署と協議しながら進めてまいります。